

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
中央第二谷中(第二期)地区

平成25年8月

埼玉県和光市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	面整備による人口定着	人	2,248	2,600	2,843	確定 見込み	○	あり なし	●	2,937	H25年4月	○	副都心線の開通や事業の進捗に伴って、中規模集合住宅の建設が進み、想定よりも大幅に人口が増加したため <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	工地区画整理事業も終盤となり、整備の完了した箇所に中規模集合住宅が多く建設され人口が増加したが、副都心線の開通など事業以外の効果も大きいと考えられ、正確な事業効果については測りたい部分がある
指標2	憩いの場及び避難地の確保	m	3,736	6,169	6,169	確定 見込み	○	あり なし	●	6,169	H25年6月	○	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	予定通り公園整備が進んだため、憩いの場と避難地の確保が図られた。
指標3	イベントへの参加人数	人	0	200	530	確定 見込み	○	あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標4	まちづくり満足度調査	%	50	70	72	確定 見込み	○	あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1					確定 見込み					H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み					H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み					H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	土地区画整理事業の更なる増進	土地区画整理事業の事業計画に基づき、着実に事業を進めている。	道路・公園・供給処理施設の整備が進んだ結果、和光市駅に近いことから中規模集合住宅の建築が進んでいる。	想定以上の人口増加に伴う教育施設の拡充や、新住民のコミュニティ形成(自治会への参加等)が必要となる。
	公園や憩いの場のネットワークづくり	区画整理区域内における第3公園が未整備であるため、ネットワークづくりについては、第3公園の整備をもって構築することになる。よって現状では具体的な方策を行っていない。	-	各公園の特色やネットワーク化した公園の配置・ルートなどをPRする必要がある。
	多くの世代が参加できるイベント等の開催	NPO法人を中心としたイベントの開催を検討しているが、実現には至っていない。	-	自治会や地域住民の協力を得ながら、イベント開催が出来るよう働きかける。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	地区内道路及び造成工事並びに地区外連絡道路の早期完成	H25年8月付にて都市計画道路一諏訪越四ツ木線において東武東上線をまたぐ橋脚が開通し、地区外との連絡が図れるようになった。	車両、歩行者ともに利便性が向上し交通量が増えたこと、及び歩道付きの道路へ歩行者動線が移行したことで歩行者のうち特に中学生の登下校が安全になった。	駅へ向かう歩行者動線において、未だ歩道整備が完了していない箇所があることから、早急に整備を進める必要がある。
	住民協力による憩いの場や植樹帯の設置及び管理	まちづくり協議会において地域住民のアンケート等を行い、街路樹の選択やベンチの設置を行った。また、道路付帯地の一部を住民の花壇として整備し、管理を任せている。	自ら樹種を選択したことや、それが「ヒトツバタゴ」という珍しいものであったため、地域住民の関心が得られた。また、花壇については季節の草花植えるなどの活動が継続的に行われている。	樹木に対する関心や花壇の維持が長期的に続くよう、その成長や利用状況を定期的にPRしていく必要がある。
	更なる交流イベントの企画・運営	まちづくり協議会を母体としたまちづくり組織については、現時点で立ち上がっていない状況である。	-	NPO法人を中心としたイベントを通じて、まちづくりに関心のある住民との連携を図り、将来的にはまちづくり組織として立ち上げる等の仕掛けが必要となる。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
人口増加に伴う社会的インフラの整備改善	想定を上回る規模で増加する人口に対して、教育施設や和光市駅までの歩行者ルートの確保など、社会的インフラの整備を進める必要がある。	-	教育施設等については、和光市全体の計画に関わるため、市の総合計画にて検討する事項となる。